



## ワクワクまつり 特集号 !!

港北国際交流ラウンジと大豆戸地域ケアプラザ共催によるワクワクまつりが去る10月11日に開催されました。当日午前は雨天だったにもかかわらず1,278名(うち外国人221名)が来館し、外国人の方は昨年より66名増加しました。

外国人学習者の日本語スピーチ・日本語劇やお国紹介など多彩なイベントを実施しました。親子づれが多く参加され、特に今回初めての試みとして外国人向けの振袖の着付け体験を実施し大人気でした。子ども達からおとなまで多数の人々がミニ異文化体験を楽しみました。

### < 過去5年間の入場者数 (単位:人) >

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
日本人	1,040	1,129	1,172	1,083	1,057
外国人	142	125	107	155	221
合計	1,182	1,254	1,279	1,238	1,278

## ふいそできつ たいけん 振袖着付け体験

今回初めての企画として、外国人女性に本格的な振袖を着て頂き、撮影した写真をプレゼントしました。



左がメキシコ出身のモニカ・チャンエラ・サントラさん、真ん中がフィリピン出身のイレネ・ベラクルズさん。ほかにも大勢の方に体験していただきました。着付けスタッフの皆様、有難うございました。

## 子どものための ものづくり・遊び体験



ぬり絵で京劇面作り、マレーシアの飾りKetupat、中国の吉祥結び、韓国の子どもの遊び「タクチ」と「ゴンゴノリ」の体験コーナーは子供たちに人気でした。



# イベントホールのもよおもの 催し物



日本語教室学習者によるギター演奏と歌

司会はマレーシア出身、当ラウンジ窓口スタッフの 玉木アイリスさん（左）と日本語教室学習者、韓国出身のハム・ヨンガさん(右)でした。



バンブーダンス（ネニタ・グループ）  
頭に載せた器を落とさないように踊ったり、開閉する2本の竹の間をステップでかわしながら踊る民族舞踊を披露してくれました。



ベリーダンス（スタジオ・ボルボレッタ）



ブルーグラスミュージック（COD）

ベネズエラ民族音楽（ベネズエラ音楽デュオ・セレステ）



アコースティック デュオ（フラワーピーンズ）



バリ ダンス（ウィヤリ・ヒタ・バリ・ダンス）

にほんごきょうしつがくしゅうしゃ にほんごげき  
**日本語教室学習者による日本語劇**  
 つる おんがえ  
**「鶴の恩返し」**



「若者が震にかかった鶴を助け、その鶴が人間の女性に姿を変えて恩返しをする」という日本民話です。夏休み前から、毎週土曜日、日本語教室が終わってから、何度も練習しました。

くにしょうかい  
**お国紹介**

がいこくじん かた しゅうしんこく くにじ  
 外国人の方が出身国のお国自  
 慢を紹介しました。



ことし きんかこくは、オーストラリア、タイ、中国、カンボジア、ブータンでした。



がいこくごたいけん  
**ミニ外国語体験**



ドイツ語、中国語、ベトナム語、英語、ネパール語、タイ語のコーナーが設けられました。来場者は、簡単な挨拶などを教わり知らない国の言葉に触れました。



せかい  
**世界のファッションショー**

せかいがこく じんぞくいしょう によるファッションショーです。毎年ワクワクまつりの最後を飾る人気イベントです。



ニューカマー子どもの教室  
**就学相談コーナー**



よこやまこうほくくちやうらいじやう  
**横山港北区長来場**



こうほくくちやう よこやまひで お  
 港北区長の横山日出夫  
 さんが来場され、ご祝辞  
 を頂きました。

# にほんごきょうしつがくしゅうしゃ 日本語教室学習者による にほんご 日本語スピーチ

今年は、11人の学習者が日本語スピーチをしました。皆さんのスピーチ内容を全部載せたいのですが、紙面の都合上、一部を割愛して掲載します。



**陳 秀英 さん**  
台湾 台北 出身  
30年前に来日し、現在はサンドイッチの会社を経営しています。

私は今から30年前に日本にお嫁に来ました。日本にきてから働きながら子育てをし、子どもたちも大学を出て自立したので、私は昔できなかったことをしたいと思います。私は子供の頃おばあちゃんに教えてもらった「人生一生勉強」という言葉がわすれられません。だから多少つらくても第二の人生をいろいろ勉強したいです。日本語の勉強もそのひとつです。本当に日本語は難しいですね。私は「うらやましい」と「うらめしい」がよく似ていて時々わからなくなります。

私は日本文化はとても好きです。趣味は日本舞踊、和装、阿波おどりと沢山あります。藍染にも興味があります。現代の着る物はほとんど化学染料を使っています。でも和服の藍染の仕方が素敵だと思います。興味があったので京都や能登半島まで見学に行きました。実際の藍染の工程を見て大変素晴らしいと思いました。これは日本が誇る文化だと思えます。また私は日本でいろいろなところを実際に見に行くととても美しいと感心しました。たとえば京都清水寺の建物は釘を一本も使っていないのが素晴らしいです。また日光東照宮は色彩があざやかで好きです。日本の建築には中国の影響があり、なんとなく昔から中国と日本が強く影響し合っているのだということを実感するのです。



**ジョー・ブーリン さん**  
アメリカ ワシントン DC 出身  
1年2か月前に来日し、現在は、大学生です。

今日は日本へ来て感じたことについて話します。去年の八月に初めて日本にきました。二年前、私は日本

に来るとは考えてもいませんでした。しかし、二年前の夏、アメリカにいた時、テレビで阪神タイガースの野球の試合を見ました。私はあまり野球が好きじゃないですが、日本人の野球熱に感動しました。「すごく楽しそう！日本へ旅行をしたい！」と思いました。それでいつか日本へ行きたいという夢を持ちました。そして、去年の五月、テンプル大学ジャパンキャンパスを見つけて入学し、その夏にアメリカを出る準備をしました。お金を貯め、弟に私の犬をあげました。そして、2014年の8月に成田空港に着きました。

日本に住んでアメリカと日本の多くの違いに気づきました。まず、道を歩く知らない人に「おはよう」と言い合いませんが、アメリカではよく「hello」といいます。電車や公共の場所でアメリカではよく大きな声で会話を楽しんでいます。日本では皆、静かにスマホを見るか、本を読んでいます。次に、日本人はラーメンやうどんを食べる時に、ずるずると音を立てますが、アメリカは反対です。アメリカの文化で、食べる時、音を立てることは少し失礼です。最後に、日本はすごく安全な国です。実は、出身地ワシントン DC は時々犯罪があり、ちょっと危ないですが、ここは安心です。たとえば、どこかに財布を置き忘れても、多分誰か見つけて警察に届けるでしょう。

今まで、13か月日本に住んでいて、日本へ来たのを喜んでます。すごく、安全だし、蕎麦もずるずると音を立ててたべれます。



**シャロン 蕭雲 さん**  
香港 出身  
半年前に来日し、現在は大学生です。

香港のディズニーランドをご存知ですか。私は香港にいた時、ディズニーランドに努めていました。今年の9月で、ちょうど開園10周年になりました。皆さん、ディズニーランドが好きですか。今から、私はディズニーランドについて話そうと思います。

どうして皆さんはディズニーランドがそんなに好きですか。たくさん理由があるでしょう。ひとつは、そこは、みんなの子どもの時の夢の場所です。そこでは、お姫様もいるし、ミッキーもいるし、親切なスタッフもいます。私の一番好きなことは、お客様の良い思い出のために、全部のスタッフが一生懸命ディズニーランドの世界を作

ることです。たとえば、これは中国式と洋式の結婚しているミッキーとミニーのキーホルダーです。



中国人は、結婚するとき、この「囍」をいつも使います。この意味は日本語と同じよこぶです。

「喜」を2個書いて、よろこぶ気持ちが強くなります。これはミッキーとミニーのキスのようなキーホルダーです。このキーホルダーは私が企画しました。スタッフの目標は、お客様が好きな商品とともに、楽しい思い出を持って帰ってもらうことです。皆さん、ぜひもう一度ディズニーランドへ遊びに来てください。そして子どもの時の気持ちを思い出して楽しんでください。



**シャン・バラサミ・スラモン さん**  
**バングラデシュ チタコンヒル・**  
**トラクス 出身**  
**6年前に来日し、現在は会社員です。**

私が日本に来てびっくりしたことをお話します。私がバングラデシュで住んでいたところは、チタコンヒル・トラクスという田舎です。町へ出る時はバスで行きます。電車は走っていません。だから電車に乗ったことがありませんでした。日本に来て初めて電車に乗りました。

バングラデシュから、大阪について、東京に行くのに新幹線に乗りました。切符はどうやって買うのかわかりません。改札はどうやって通るのかわかりません。言葉もわかりません。日本の人に切符を見せて英語で聞きました。日本の人は親切で、改札口まで連れて行ってくれました。でもわたしの乗る新幹線は出発してしまっていて困りました。日本は時間に正確です。バングラデシュでは時間が決まっても、ほとんどその時間には来ません。大体30分くらい遅れて来ます。時間が正確なのはいいですね。

また他に地震があります。バングラデシュでは、一、二年に一回ぐらいは小さな地震がありますが、日本のような大きな地震や、一年に何回も起こる地震には本当にびっくりします。そして怖いのです。あと素晴らしいことを言えば、バングラデシュは雪が降りませんが、日本に来て雪が降ったのをみて、素晴らしいと思いました。雪が白くてとてもきれいでした。外に出て行って雪合戦をしたりして嬉しかったです。建物や木が、空の白い雲のようで、とても素晴らしいです。私は日本に来て6年に

ります。もう今では日本の生活に慣れてきました。バングラデシュに帰ったら、日本で勉強したことを活かして、日本語を教える先生になりたいと思っています。日本に暮らして本当に良かったです。



**バン・ジュンヒョン さん**  
**韓国 出身**  
**10か月前に来日し、現在は会社員**  
**です。**

24歳まで一度も外国に行ったこともなかった私が初めて日本を知るきっかけになったのはカナダでの留学時代でした。節約するために日本人のルームメイトと一緒に住むことになりました。

ルームメイトの彼女から友達を紹介してもらったり外国で生活するためのコツを教えてくださいました。

カナダを離れる日、私はその友達に今度あなたに会った時、日本語で話したいといいました。それが私の日本語の勉強のきっかけでした。英語の勉強をし、働きながら日本語の塾に通って3年後、日本人と一緒に働ける会社に就職をしました。

ある日、会社から日本に行って働きませんかという提案をもらいました。その時私は結婚していたのですが主人に背中を押してもらい日本行きを決めました。日本に対してのあこがれと、顔つき、文化、食習慣などが似ているんだと考えていた私にとって日本での生活は衝撃の日々でした。旅行で来たほうが良かったのかも・・・と考えるぐらい違っていたのです。

考え方の違い、働く習慣の違い、雰囲気の違い、私を外国人としてみる同僚とはどのように親しめるだろうか？ 一日一日が緊張の連続、寂しさとの戦い、仕事のストレスで辛い日々が続きました。

日本に来て4ヶ月くらいたった頃から日本の長所と日本人の考え方がわかるようになってきて会社での生活方法も見え始めました。特に、公共秩序、他の人に対する配慮、自然に対する愛に感動しました。そして日本にどんどん適応してきている自分を感じました。

国際交流ラウンジで出会った日本語の先生達は、母のように私のことを喜んでくださったり心配して下さったりします。ほんとに感謝しています。私は自分のことをとても幸せだと思います。日本に来てもう10ヶ月近くたちました。日本は私の人生の一部になりました。韓国に帰る日まで日本の生活を楽しんで日本語の勉強も最善を尽くします。



**プティ・フランソワ さん**  
**フランス リヨン 出身**  
 7年前に来日し、現在はエンジニアとして働いています。

日本：対照となるものが共存する国

このタイトルはどういう意味でしょうか？

皆日本の地形を知っていると思いますけれども、その形は外からの眺めです。中からの眺めは違います。内側の形は太極図のようです。太極図は陰陽の象徴です。具体的には2つのものは対立するという意味です。暑いと寒い、新しいと古い、女と男。日本の毎日の生活で同様の対立が起こっていますので今からいくつかを紹介いたします。

◆日本の家の中はとてきれいです。靴を脱いで床がピカピカ。でも、家の外の道に家庭ごみが置いてあります。歩道が汚れると思います。

◆日本には桜の木がいっぱいあります。桜の花が100円玉にも見えます。でも、サクラノボは少なくとも高いです。値段は100円以上。

◆横浜は日本で2番目に大きな都市ですけれども田舎もあります。田畑がたくさん見えます。

◆日本語は英語からの言葉をいっぱい使います。道の看板にも英語がよく書いてありますが、日本人はそんなに英語でしゃべりたくないようです。

◆日本人は自然が好きようです。花見や紅葉の時期に皆楽しんでます。そして自然の中に神様が宿っているとされています。しかし、環境のために日本人はそんなに省エネをしていません。たとえば、外がそんなに暑くなくてもエアコンがついています。ビルの階段では電気が24時間ついてます。ビニール袋がいっぱい使われてます。日本人は包装の大ファンです。ケーキを買えば、プラスチックの種類が三つも使われています。

◆「もったいない」の概念は浪費してはだめだという意味です。お母さんが子供にご飯全部食べなさいと言っています。でも、割り箸が毎年250億本も使われています。これはもったいなくないのでしょうか。

◆観光客が初めて来日したときに、日本人は皆とても丁寧だと思うようです。確かに店員は非常に丁寧だけれども、コンビニやスーパーではお客さんはだれも店員に「こんにちは」や「ありがとうございます」と言いません。



**グエン・トゥエット・ガア さん**  
**ベトナム ニャチャ 出身**  
 現在はクリーニング店に勤務しています。

私の名前はガアです。今年の1月、ベトナムから来ました。日本はとて静かなところだと思いますが、朝はとて忙しいです。駅や電車は、会社に急ぐ人たちで混んでいます。時々道に迷いますが、日本人達はとて親切で、いつも助けてもらいます。日本の食べ物はとて美味しいです。お寿司と牛肉が特に好きです。お寿司はとて安いと思います。

ただ果物はとて高いです。日本で美味しいレストランの見分け方を覚えました。すいているお店はあまり美味しくなく、人が並んでいるお店が美味しいレストランですね。日本の気候ですが、夏はとて湿度が高く、とて暑く感じます。ベトナムの夏の方が温度は高いですが、日本の方が暑く感じます。私はゲームセンターと花火が大好きです。8月に初めて花火を見ましたが、とてきれいでした。着物を着て、花火を見ている人がたくさんいました。私も来年の夏は、着物を着て花火を見たいと思います。



**チャン・バン・ホック さん**  
**ベトナム タイビン 出身**  
 来日して1年、現在は大学生です。

突然ですが皆さんに質問があります。

皆さんは、一日に20回以上笑っていますか。それとも1回も笑っていない方がいらっしゃいますか？ 世界では少なくとも30%の人が毎日20回以上笑っているそうです。笑顔とは幸せな時や嬉しい時、またリラックスしている時に出る自然な反応であり、相手に対して自分も持っている感情を表すものです。本日、私は「笑顔の持つ力」を伝えたいと思います。美味しいものを食べた時、綺麗な花を眺めた時に自然と笑顔になります。そして、皆さんは写真を撮る時にどうしますか？ 笑いますよね。どうしてでしょうか？ ただ、ほとんどの人は作り笑いですが、いい効果があります。

ある研究によると、笑顔は寿命に関係があることがわかりました。写真を撮る時に全然笑わない人の平均寿命は72歳。無理に笑う人は75歳。そして、いつも笑う人と80歳だそうです。ですから、みなさんもできるだけ笑ってください。無理にでも笑ったほうが良いと思います。

私は一年前に留学生として日本にきました。アルバイトは新聞配達です。日本に来たばかりの頃、本当に大変でした。雨の日には特に新聞が重くて大変でした。時々、やる気を無くして、帰国したいと思いました。でも、その度に仲間の皆に助けられました。特に私の気持ちをわかってくれた60歳のおじさんがいました。おじさんはいつも笑顔で「がんばってね」と励ましてくれたり、生きがいについて色々な話をしてくれました。おじさんは私の原動力です。時々、私の部長に「いいね、ホック君、いつも笑顔で、元気だね。俺が女の子ならホックのことが好きだよ」と言ってくれました。社長の奥さんにも「すごい笑顔だね」と誉められました。それ以来、私はより多く笑うようになりました。ベトナムでは「1つの笑顔は10コの栄養剤」という諺があります。皆さんにも一日に少なくとも20回以上笑って欲しいんです。そうすると、きっと皆さんは有意義な人生を過ごせることでしょう。



游舒婷さん  
台湾 台北 出身  
来日して2年、現在は大学院生です。

今日は、皆さんに台湾で一番大きなお祭り、「媽祖巡行」を紹介したいと思います。媽祖という神様は、台湾で航海・漁業の守護神として広く信仰されている女神です。旧暦3月23日は媽祖の誕生日といわれ、台湾各地、媽祖のお祭りが行われています。その中で、一番盛大なお祭りは台中にある「大甲鎮瀾宮」という廟が開催するお祭りです。今日はこのお祭りの五つの特色を紹介いたします。



(特色1) 巡行距離の長さ

「媽祖巡行」とは、媽祖の神像が鎮座している「大甲鎮瀾宮」から出発し、台湾中部の4県市(台中・彰化・雲林・嘉義)に跨る21町村の90余りの廟を巡り、330キロにも達します。

(特色2) 巡行期間の長さ

媽祖の巡行期間は全部で8日間です。信仰心のあついで信者たちは昼、夜を問わず、媽祖の一行と共に徒歩で回ります。

(特色3) おもてなし

お神輿が通過する町では、商店や民家の人々が長時間歩いてきた信者たちにおもてなしをします。

町の人が食事を用意します。

(特色4) お神輿の下をくぐること

2013年に私は日帰りの旅でしたが、媽祖巡行に参加しました。そのときの印象深かったことはお神輿の下をくぐることです。そうすれば、その年一年は健康に過ごせるといわれています。

(特色5) 滝のような爆竹

お神輿が通過する際、人々は爆竹で神様を迎えます。もし、皆さんが台湾観光に行く機会がありましたら、是非媽祖のお祭りをみて楽しんでください。



カムルール・イスラムさん  
バングラデシュ ダッカ 出身  
来日して3年、現在は放送局に勤務しています。

私の国の名「バングラデシュ」は「ベンガル人の国」という意味です。



これは、バングラデシュの国旗です。わが国は、第二次世界大戦が終わる1945年までは、現在のインドや、パキスタンなどと共に、イギリス領インド帝国、の一部分でしたが、1947年、イギリスが、シンガポールやわが「イギリス領インド帝国」などアジアにあった植民地から手を引くことになったので、この帝国の真ん中の広い部分に多く住んでいたヒンズー教徒たちは、「インド共和国」として独立し、そして私たちがイスラム教徒は、インド共和国の西と東の二つに分かれて、一つの国パキスタン共和国として独立したのです。でも一つの国が大きな国を挟み、2千キロも離れ東西に分かれている事は、たいへん不自然で不便でした。

それに、東西パキスタンの人びとは、同じイスラム教徒だけれど、人々が使う言葉が、西側は「ウルドゥ語」、私たちが東側は「ベンガル語」、と違っていたため、東と西のパキスタンの間にはいろいろの紛争が絶えず、結局、今から44年前、1971年に東パキスタンは「バングラデッシュ国」として独立したのです。そして、この国旗は、色は違うけれど、どこか日本の国旗と似ていますね。実は、バングラデシュの初代大統領、ラフマン大統領が国旗を決める時に、国際赤十字の仕事でバングラデッシュに滞在していた日本人の吹浦忠正さんという人を呼び、日本の国旗につき説明を受けたのです。当時、対立関係にあった西パキスタンの国旗が、イスラム主義の象徴である「三日月と星」を採用しました。

それに対抗し、日本の日の丸の旗を参考にし、赤い円で「昇って行く太陽」と、バングラデッシュの独立のために闘って死んだ人たちの血の色を、そして地の濃い緑色で「緑の木々が豊かな大地」を表して、この国旗のデザインを定められたのです。旗の縦と横の比率は「3対5」、中心の赤い円は少しだけ左によっています。これは、旗竿に掲げて風にゆれた時にも、なるべく、赤い丸がハッキリ見えるようにするためでした。どこの国でも国旗をめぐる物語は、いろいろあるものですね。



ソランジュ・メンデス さん  
フランス パリ近郊 出身  
来日して5か月、現在は英語講師をしています

にほんにすむなら、べんきょうしょう！  
おおくの がいこくじんが あいさつ ぐらい の べんきょう しか していない ように おもいます。さいきん がいこくじんのともだちと はなしを しましたが、その かれは こう いいました。「ぼくは ここに いちねん いるだけ。にほんごの べんきょうは じかんの むだ だ。」さて、ほんとうに いちねん いるだけ なのでしょう？ もし、その よてい より ながびいて しまったら、きっと もっと はじめ から べんきょうしていたら よかったのになあ、とおもう ことでしょう。いちねんしか いない から、にほん ぶんか や かがえかたを りかいする より、おおくの ひとたちと コミュニケーション を とる ほうが よいと おもっている のでしょう。いちねんでは はなせて、かけるように きっと ならない でしょうから？ 「えいご は こくさいご、にほんごは そこまで べんきょうする ひつようは ないだろう。」それって、ほんとう？ えいごが わからない レジの てんいん さんに そう いえますか？ かんこく や たいわん では、おおくの おとしよりが きれいな にほんご を はなすと ききます。わたしも たいわん の ほかに インドネシア や タイ でも、えいご より にほんごを じょうずには なす ひとたち と であいました。そんな かれらが にほんごで にほんじん かんこうきやくには なしを すると たいへん よろこばれます。だから にほんご も がいこく で やくに たつ のです。

「にほんごは むずかしい！」  
たしかに！ にほんご は とても むずかしい です ね。でも べんきょう しない りゆうには、なりません よね。  
かんじ を おぼえるには すこし じかんが かりますが、まずは ひらがな、カタカナ、からでも けっして おそすぎは しないでしょ。  
にほんご を まなべば、きっと あなたも にほんの ところが みえてくる こと でしょう。  
だから、わたしも いっしょうけんめい にほんごを べんきょう しています！ がんばります！

## ラウンジボランティア えいねんかつどうしゃひょうしょう 永年活動者表彰

ワクワク祭りの開会式で、ラウンジのボランティア活動を10年間続けてこられた4名の方が表彰されました。皆様、永い間ありがとうございました。これからも宜しくお願い致します。



左から中根貞夫さん、  
仁科雅好さん（宇井野  
理事長）川島亮さん、  
篠木肇子さん

## ふるさと港北 ふれあいまつり



10月17日に行われた“2015 ふるさと港北ふれあいまつり”に出展しました。「世界のじゃんけん」「国旗をピースで作ろう」「国旗あてクイズ」を実施しました。当日は、朝まで雨が降り続き、会場のグラウンドはぬかるみで大変な状況でしたが、大勢の人が来てくれました。

よこはましこうほくこくさいこうりゅう  
**横浜市港北国際交流ラウンジ**  
KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE  
よこはましこうほくこくさいこうりゅう  
〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町316-1  
Tel 045-430-5670 Fax 045-430-5671  
E-mail kohokulounge@yokohama.nifty.jp  
ホームページ http://kohokulounge.com/

横浜市大豆戸地域ケアプラザ TEL 045-432-4911  
横浜市港北国際交流ラウンジ TEL 045-430-5670  
\*駐車場はありません

至新横浜